

1都5県が協力、「海の天気図！」

水産試験場

【研究のねらい】

漁業やマリンスポーツにとってかかすことのできない海況図は、従来から雲の影響を受けることが多く、不便でした。そこで、平成17～19年度の3年間に、千葉、東京、神奈川、静岡、三重、和歌山の試験研究機関が協力して雲の影響を受けることのない高精度海況図の共同開発を行いました。

【研究の成果】

広い海域の水温分布については、人工衛星NOAAの赤外線センサーによる解析水温を利用した水温分布図が作成され、すでに多くの漁業者に利用されています。しかし、荒天時や梅雨時期には良好な分布図が得られにくく、実用面で問題がありました。そこで1都5県では、この人工衛星NOAA解析水温の他に、地球観測衛星AquaのAMSR-E水温、気象庁水温、船舶やブイによる実測水温を合成し、より現場水温に近く天候に影響されない高精度海況図のシステム開発を行いました。

この結果、平成19年度の試行期間には、雲の影響を受けずに毎日、関東・東海海域全体の水温分布を図示できるようになり、平成20年度には実用段階に入っています。この水温分布図は、荒天時や梅雨時期でも天気図のように毎日みることが出来ます。また、水温分布図には海域別にカラー版、白黒版、携帯版があり、ホームページ等へ掲示することにより、漁業者をはじめ広く県民に利用されることが期待されます。

【研究の活用面・留意点】

今後は、このシステムを効率よく運用していくとともに、和歌山県漁業への活用について研究し普及をはかっていきます。

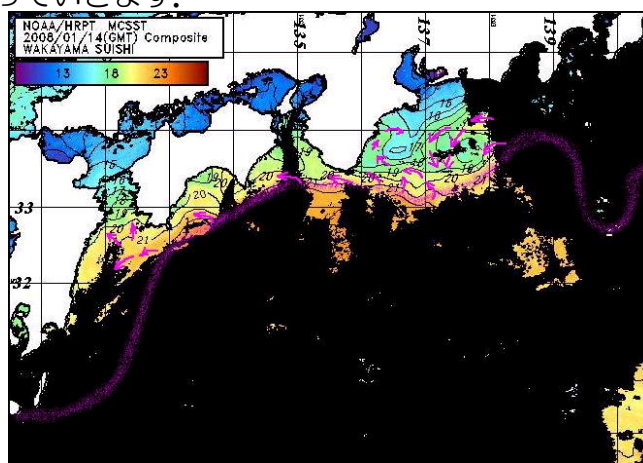


図1 人工衛星NOAAデータから作成した海況図（2008年1月15日）

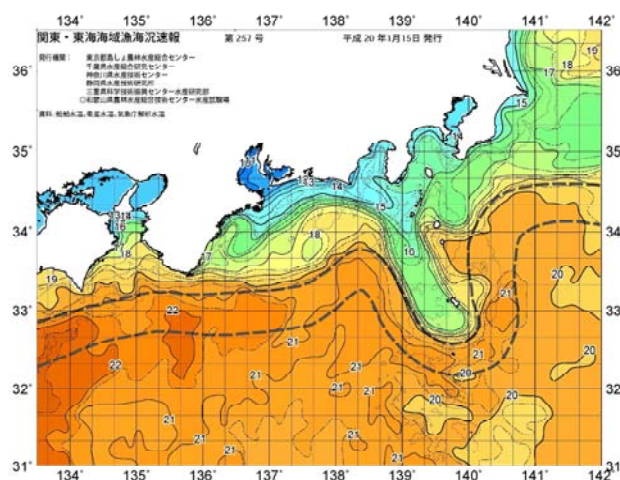


図2 高精度海況図（2008年1月15日）

(問い合わせ先TEL：0735-62-0940)

